

第5部 これからの兵庫の将来像

見えてきた課題群、県民の夢・願い

将来像の方向性

兵庫の将来像

兵庫の未来像

豊かな生活

- <家族が小さくなる中でのつながりの構築>
 - ・世帯数増加の中で進む世帯人員の減少
 - ・家族のつながり再生 など
- <地域で支え合い創り出す安心な生活基盤の構築>
 - ・地域でのつながりの希薄化
 - ・子どもを安心して産み育てやすい社会 など
- <豊かなライフスタイルの実現>
 - ・格差感の広がり
 - ・生活に根ざした文化の醸成 など
- <雇用環境の整備と多様な働き方の実現>
 - ・経済活動の担い手の減少
 - ・自分の役割、存在意義を実感できる社会 など

世界に開かれた兵庫

- <兵庫を支える人材の育成・集積>
 - ・創造性豊かな人材が輩出される地域 など
- <世界や地域で様々な結びつきが求められる経済・産業>
 - ・高齢化など高まる社会ニーズの産業化
 - ・国際的な技術力を生かしたものづくり地域としての発展 など
- <拡大・深化が求められる多文化との交流・共生>
 - ・日常生活で様々な課題を抱える外国人県民
 - ・国内外を魅了し交流が活発な地域 など

持続する地域構造

- <人と自然環境との関係性の再構築>
 - ・大規模自然災害の発生リスクの拡大
 - ・人と自然が共生した暮らしや環境適合型の地域の構築 など
- <地域発の気候変動対応>
 - ・自然エネルギーの活用、普及による脱化石燃料化の達成 など
- <地域を支える人材育成・基盤の強化>
 - ・住民主体の地域経営による魅力ある地域づくり など
- <地域ごとに異なる課題への対応>
 - ・生活に必要な機能が身近にある便利な地域
 - ・地域資源と空間の活用による地域活性化
- <深化が求められる地域間連携・交流>
 - ・都市での集住、高齢化、多自然地域での過疎化
 - ・多様な交流・連携で支え合う地域と地域 など

家族のつながりが深まる社会づくり
多縁社会の構築
子どもが健やかに成長する地域づくり
誰もが集う楽しみやにぎわいのある社会づくり

地域の中で支え合うしくみの構築
多様な主体が連携して創り出す安心な暮らし
誰もが安心して生活できるしくみの構築

やりがいや生きがいにあふれた社会づくり
自然や文化に親しむ健康な生活
情報通信技術を活用した豊かな暮らしづくり

地域に根ざし社会を変えるしごとの創出
自らの能力と可能性を發揮し安心して働ける環境
年齢、性別、障害に関わらず誰もが活動できるしくみが整った社会づくり

国内外の課題解決に貢献する人材の育成
世界で活躍する兵庫発の人材づくり
人・モノ・情報の活発な交流

未来を切り拓く先導的産業・プロジェクトの立地
兵庫が持つ課題解決の技術で世界に貢献
地域資源や地域の強みを生かしたしごとの創出

人・モノ・情報の活発な交流(再掲)
外国人にとっても魅力ある暮らしの場の形成
文化の多様性を受け入れ誰もが暮らしやすい社会

人と自然の共生・持続
豊かな自然の恵みを生かした産業の持続
地域間連携による自然環境の維持、再生
自助・共助・公助による防災・減災

再生可能エネルギー活用と地域の低炭素化
環境と調和するしくみの浸透
地域間連携による自然環境の維持・再生(再掲)
自助・共助・公助による防災・減災(再掲)

地域に貢献する人材の育成
地域資源や地域の強みを生かしたしごとの創出(再掲)
多様な主体の地域経営への参画

地域固有の課題の解決による地域の再生
地域の中で支え合うしくみの構築(再掲)
誰もが安心して生活できるしくみの構築(再掲)

広域や狭域などさまざまな地域間連携
二地域居住で多様化するライフスタイル
アジアをはじめとする世界との交流・連携拡大
人・モノ・情報の活発な交流(再掲)

ビジョン
の社会像

創造的
市民社会

しごと
と活性社会

環境
優先社会

多彩な
交流社会

- 人と人のつながりで自立と安心を育む**
世代や地域を超えてつながる縁や絆の中で、誰もが認め合い、自立して安心した生活を営む兵庫
- 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する**
誰もが個性を生かしたライフスタイルを確立し、社会との関わりの中で、幸せを実感できる兵庫
- 次代を支え挑戦する人を創る**
課題に挑戦する意欲を持ち、世界や地域の持続と発展に貢献しうる人が育つ兵庫
- 未来を拓く産業の力を高める**
オンリーワンの技術力、優れた知的基盤を生かし、未来を切り拓く産業・事業が発展する兵庫
- 地域と共に持続する産業を育む**
地域の資源を生かした固有の産業や新たな生活産業が発展する兵庫
- 生きがいにあふれたしごとを創る**
誰もが持ち味を發揮できる多様な働き方が実現する兵庫
- 人と自然が共生する地域を創る**
豊かな自然と共生するライフスタイルにより、持続可能な環境を創り出す兵庫
- 低炭素で資源を生かす先進地を創る**
省エネ・創エネ・資源再利用を推進し、環境負荷の低い地域持続のしくみが整う兵庫
- 災害に強い安全安心な基盤を整える**
社会基盤や地域共助のシステムの充実を通じて、災害や危機に強い安全安心を育む兵庫
- 地域の交流・持続を支える基盤を整える**
多様な主体が地域経営に参画し、地域を取り巻くさまざまな基盤が有効活用されている兵庫
- 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す**
集落や都市の潜在力が引き出された個性的な自立地域が連携・交流し、活力が満ちる兵庫
- 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ**
世界の各地域と直接つながり、相互に補完しながら共生・成長する兵庫

時代潮流や課題を踏まえて、社会像ごとに見出した12の将来像を横断し、2040年にめざすべき兵庫の姿

創造と共生の舞台・兵庫



個性豊かな人材と幾世代にもわたって私たちの暮らしを支えてきた多様な地域。これらを兵庫のかけがえのない財産として守り、生かしながら、広く世界を見据え、さまざまな豊かさを創り出すとともに、人の絆や自然と共に生きていることを感じられる兵庫をめざす。

第6部 将来像を実現するための基本戦略

戦略の基本姿勢

協働シナリオの展開にあたり、各主体が共有する基本的な考え方

自立 と 連帯

〔人の自立、地域の自立〕

・ 阪神市民文化社会など地域ビジョンの取組をはじめ、一人ひとりの個性や能力を生かし、学びやしごと、社会貢献などのさまざまな活動を通じて人が自立するとともに、都市から農山漁村まで多様な地域の課題に的確に対応し、自然、文化、産業などの資源を生かした独自の取組で地域の自立力を生み出す。

〔連帯が創り出す新しい地域社会〕

・ 人と人、人と地域、さらにコミュニティの再生をめざす県民交流広場や県内で広がりつつある集落間の支え合い、また加古川でつながる東播磨と北播磨の連携など、狭域から世界視点の広域までのさまざまなつながりを確かなものとし、たくましい人づくり、魅力にあふれた地域づくりを進める。

安心 と 活力

〔生活、産業の安全安心〕

・ 誰もが安心して働ける就業環境づくり、阪神・淡路大震災や相次ぐ災害の教訓を生かした防災減災力の向上、食の安全を支える農林水産業の振興、さらにはリスクに強い産業構造への転換により、県民の安全安心を支える経済社会を構築する。

〔明日の兵庫を生み出す活力〕

・ 時代潮流の変化を好機として捉え、ライフスタイルに応じた多様な働き方、地域産業の高付加価値化、高齢社会に対応した生活産業の育成、播磨・神戸等の先端科学技術基盤を生かした成長産業の集積化など、人も地域も輝き活力あふれる兵庫を創る。

継承 と 創造

〔地域に根ざした豊かな自然と文化の継承〕

・ コウノトリの野生復帰や丹波の森づくりなどの取組で守られてきた豊かな自然、淡路人形浄瑠璃の継承に向けた息の長い取組などで地域に引き継がれてきた歴史、文化、暮らしのリズムなど、有形・無形の地域資源を再評価し、兵庫らしさ、固有の地域らしさを子や孫の世代に継承する。

〔自然の恵みを生かした新しい価値の創造〕

・ 農林水産資源の有効活用から、太陽光などの再生可能エネルギーの活用までさまざまな循環を可能とし、資源の再利用を高める循環型社会を構築するとともに、経済的な豊かさだけでなく自然と共生する生活の豊かさなど成熟した時代にふさわしい新しい価値を創造する。

【各主体の主な役割】

県民、地域団体、NPO、教育機関、企業、行政等のさまざまな主体が、課題に応じた協働のあり方を模索しながら、ともに取り組む。

県は広域的・包括的な視点から地域社会の変化を先取りした形で、市町はより住民に密着した課題について、適切な役割分担と連携のもとに取り組む。

主体	主な役割
県民	家族の絆づくり、地域づくり活動への参画、豊かなライフスタイルや多様な働き方の創造・実践、経済活動への参画、異なる文化との交流・共生
地域ビジョン委員	地域の個性に応じたプロジェクトの推進、ビジョンの理念の県民への拡大など地域ビジョンと県民をつなぐ結節点
地域団体、NPO	地域課題への対応、地域づくり活動への参画・提言、地域に密着したサービスの提供、多様な主体の社会参加促進、ネットワークの結節点、社会基盤の積極的活用
教育・研究機関	特色ある教育プログラムの提供、生涯現役社会に対応した全世代の人づくり、産学公民連携の推進、海外研究機関等との交流、地域づくりへの提言・参画・調査研究
企業、事業者	豊かな生活を創造する製品・サービス・働き方の提供、企業市民としての活動、経済活動の積極的展開、産業人材の育成、技術開発と事業化、基盤整備への参画
行政(県・市町・国)	パートナーシップの構築、コーディネート機能、行財政構造改革への取組、支援施策の実施、基盤の整備・活用、経済活動の基盤整備

兵庫の可能性を開花させるための協働シナリオ

地域社会を構成する県民、地域団体、企業、行政等が協働し、それぞれの将来像を実現するため、2020年頃を想定した取組の方向

1 つながりによる家族・地域の再生

- ・ 近居・隣居などでの家族の絆の再生
- ・ 地域における日常からの人と人のつながりの育みによる安心安全の確保
- ・ 住民主体での日常生活の相互支援 など

2 生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり

- ・ 医療・福祉・介護サービスの充実
- ・ 地域の歴史、自然資産の再評価
- ・ 地域住民の主体的な地域づくりや日常生活支援など社会貢献活動の展開 など

3 地域と世界で活躍する次代の人づくり

- ・ 地域一体で子どもの学び応援
- ・ 環境・防災学習や体験学習など特色ある教育の展開
- ・ グローバルに活躍できる人材の育成 など

4 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり

- ・ 生活の安全安心を高める技術革新拠点の形成
- ・ 成長企業(健康・環境・エネルギー、防災等)の集積
- ・ 産業ネットワークとバックアップ機能の充実 など

5 地域を生かし共に持続する産業づくり

- ・ 地場産業の高付加価値化
- ・ 地域資源を生かしたものがたり型ツーリズム
- ・ 力強い農林水産業の再生
- ・ 高齢社会に対応した生活産業の育成 など

6 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり

- ・ 社会貢献型のしごと創出
- ・ 職業能力開発など高度・専門的な人材力の強化
- ・ 就業支援等により生きがいをもって働ける環境づくり
- ・ 同一労働への給与の均等化や多様就業型ワークシェアリング など

7 人と自然が共生した持続する地域づくり

- ・ 森川里海の連環による自然環境の保全・創造
- ・ 下流域の災害抑制
- ・ 森林・農地の最適管理や生態系の保全・再生
- ・ 農林水産資源の地産地消 など

8 低炭素・省資源による自立した地域づくり

- ・ 再生可能エネルギーの開発・普及
- ・ 家庭での省エネ・創エネ・蓄エネ
- ・ 空き空間の緑化などヒートアイランド現象の緩和
- ・ 再利用による持続的な資源循環 など

9 災害に強い安全安心な地域づくり

- ・ 地震・津波防災、治山・治水など防災・減災基盤の整備
- ・ 感染症等の事前予防・拡大防止、大規模事故対策
- ・ 災害時要援護者を守る自助・共助のしくみづくり
- ・ 防災学習による災害危険度の共有 など

10 確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり

- ・ 地域団体やNPO等の連携による地域づくり
- ・ 市民性を涵養する教育
- ・ 道路・港湾・交通(鉄道、航空)の充実
- ・ 交流(スポーツ・芸術等)基盤づくり など

11 個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり

- ・ 二地域居住、短期滞在等によるまちむら交流
- ・ 職住学近接のコンパクトな地方都市づくり
- ・ 多世代共住、創エネなど持続可能なニュータウンの再生
- ・ 地域・県域を越えた連携による地域の元気づくり など

12 アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり

- ・ 兵庫とアジアの経済・産業が一体で成長する「アジア交流圏」の形成
- ・ アジアの人材育成拠点づくりと多文化共生のまちづくり
- ・ アジアのハブ機能を担う空港・港湾等の基盤活用 など

第5部 これからの兵庫の将来像

現行ビジョンの4つの社会像のもと、兵庫がめざすべき姿を12の将来像として分かりやすく提示

第6部 将来像を実現するための基本戦略

地域社会を構成する県民、地域団体、企業、行政などの協働のもと、将来像を実現していくための取組方向を示す12の協働シナリオ

創造的市民社会

将来像1 人と人のつながりで自立と安心を育む	36
シナリオ1 つながりによる家族・地域の再生	38
将来像2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する	40
シナリオ2 生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり	42
将来像3 次代を支え挑戦する人を創る	44
シナリオ3 地域と世界で活躍する次代の人づくり	46



しごと活性社会

将来像4 未来を拓く産業の力を高める	48
シナリオ4 国内外と一体で成長を生み出す産業づくり	50
将来像5 地域と共に持続する産業を育む	52
シナリオ5 地域を生きかし共に持続する産業づくり	54
将来像6 生きがいにあふれたしごとを創る	56
シナリオ6 一人ひとりが持ち味を発揮できるしごとづくり	58



環境優先社会

将来像7 人と自然が共生する地域を創る	60
シナリオ7 人と自然が共生した持続する地域づくり	62
将来像8 低炭素で資源を生かす先進地を創る	64
シナリオ8 低炭素・低資源による自立した地域づくり	66
将来像9 災害に強い安全安心な基盤を整える	68
シナリオ9 災害に強い安全安心な地域づくり	70



多彩な交流社会

将来像10 地域の交流・持続を支える基盤を整える	72
シナリオ10 確かな地域経営を支える交流・持続基盤づくり	74
将来像11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す	76
シナリオ11 個性を生かし自立する多彩で元気な地域づくり	79
将来像12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ	82
シナリオ12 アジア交流圏による世界に開かれた兵庫づくり	84



将来像 1 人と人のつながりで自立と安心を育む

誰もが、家族の絆と世代や地域を超えた多様な縁に支えられながら、互いが認め合い、自立し安心した生活を営み、つながりの豊かさから幸せを実感できる暮らしが実現している。

〔夢提案〕

- 物やお金が多くあっても、人の「幸福度」が低い水準だと「自分たちは幸せ」という実感がわからない。自分の住むまちを「住民幸福度ナンバーワンのまち」にしたいと思う。(加古川市中学生)

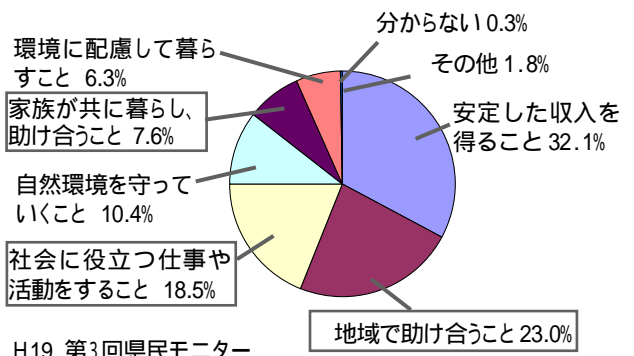
家族の絆の大切さと、結婚や出産、子育ての喜びを実感できる

- ・ 家族で過ごす機会が増え、互いの絆を実感できる
 - 住宅ストックが有効活用され、柔軟な住み替えが可能となり、同居だけでなく、近居・隣居などさまざまな住まい方で、家族が支え合っている
- ・ 地域や職場が連携し安心して子供を産み育てる環境が整っている
 - 子どもなどの安心できる医療体制が地域で確保されている
 - さまざまな主体が連携した子育てが行われ、親同士のネットワークが充実している

ショートタイム社員制度を導入(神戸)

パートタイム社員を正社員として登用するとともに、正社員の中で育児などで勤務時間が短い方を望む人をショートタイムの柔軟な勤務形態で確保。

暮らしの豊かさに大切なことはつながり・助け合い



父親が子育ての会を設置(明石)

父親がもっと子育てに参加してほしい、とPTAの父親有志で「おやじーず」の会を設立。学校でのキャンプや清掃活動、米づくり体験学習などを実施。



地域全体が家族のようにつながり、豊かさや安心を実感できる“地域まるごと家族”が実現している

- ・ 空き空間などを利用した誰でも気軽に集える場がたくさんある
 - さまざまな施設や空き空間などを活用し、誰もが集まる身近なたまり場ができています
- ・ 年齢や性別、障害の有無、国籍、文化の違いなどを超えた多彩なつながりが生まれている
 - さまざまな団体が連携して地域づくり活動に取り組んでいる
 - 複数のコミュニティの連携が行われている
- ・ 家族のようなつながりを生み出す住まい方が広がっている
 - 世代や家族を超えてお互いにつながりと安心を得て暮らすさまざまな形の同居が広がっている
 - 集合住宅などで共有と私有の中間となるスペースがあり、身近な交流の場となっている

空き家を高齢者が集う場として活用(神戸)

有料老人ホームに入居し、空き家となった一軒家を近くのNPOが使用料を払い、地域の高齢者が週1回集まる場として活用。空き家の提供者も集まりに参加。

高齢者住宅での地域・学生との交流(神戸)

高齢者専用賃貸住宅の地域の図書館にするなど、多世代・地域とのつながりを重視した高齢者住宅が開設。年末のもちつき会などには近隣の住民も招待。

異なる世帯が助け合う暮らし(神戸)

各世帯が独立した部屋に住みながら食堂などの共有スペースを有したコレクティブハウジングなど、緩やかにつながりながら、支え合う住まい方が増加。



< コレクティブハウジング >

集合住宅の形態のひとつ。独立した居住スペースの他に、居間や台所などを共同で使用できるスペースを備えたもの。住民同士の交流や、子育て・高齢者などの生活支援に有効とされている。

つながりにより安全安心のコミュニティが実現し、いざというときに孤立を防ぐセーフティネットが構築されている

- ・住民主体による高齢者などへの見守り活動や日常生活の相互支援が広がっている
 - ケアが必要になっても困らないように、生活支援サービスが住民主体で提供されている
- ・地域で協力して自主的な防犯や防災の取組が進んでいる
 - 住民や地域団体の連携により、地域の自主的な防災活動が展開されている
 - いざというときに必要な地域の情報の把握や防災訓練がしっかりと行われている
- ・困った時に相談する人が身近にいて孤立せず、必要なサポートが受けられる
 - ひきこもりの若者が地域のさまざまな人と交流し、体験を積むことで、多様な生き方や価値観を学び、自立を果たしている。
 - 地域の多層的なつながりが困った人を支え、相談機関の連携が進み、自殺や孤立死が減っている

地域の高齢者に安心と食を届けるNPO（神戸）

地域に住む独居、虚弱高齢者に栄養バランスの良い昼・夕食の弁当を配達するとともに、お年寄りの話を聞いたり、自宅を訪問して聞き取りなども実施している。



大規模マンションの防災の取組（加古川）

全住民 2,000 人の自主防災組織として父親達を中心となり防災会を設立。防災ハンドブックの作成、援助が必要な人の事前登録制度など様々な取組を行っている。また昼間にいる人のみで防災図上訓練を行い昼間の防災体制も強化している。

不登校の子どもに学校外の居場所を提供するフリースクール（神戸）

不登校の子どもが学校や社会に復帰するウォーミングアップの場の提供を目的に、農作業などの共同作業や表現活動を通じてコミュニケーション能力を高め、自ら進路を決定できるよう、様々なプログラムを提供。

一人ひとりが大切にされ、共に生きる意識が高まる中、誰にとっても利用しやすいモノ、情報、サービスが普及するとともに、誰もが安全で快適に暮らせるまちが実現している

- ・モノや情報などが、高齢者、女性、障害のある人、外国人県民など多様なニーズに柔軟に対応している
 - 高齢者や障害のある人などにとって使いやすい商品が普及し、デザインに富み、機能性の高い商品の選択の幅が広がっている
- ・さまざまなサービスが利用する人の立場にたって提供されることで誰もが不便なく利用できる
 - 家事代行や高齢者・障害のある人の旅行支援サービスなど、したいことの実現を支援してくれるサービスが普及している
 - 高齢者や障害のある人などが、買物、通院など日常生活の移動が困難な場合に、その移動を手助けしたり、モノやサービスを届けたりする日常生活支援のサービスが広がっている
 - 多自然地域の集落など車がないと移動が困難な地域において、移動店舗販売などモノやサービスの購入手段が整っている
- ・誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりが進んでいる
 - 公共交通や施設などのバリアフリー化や標識の多言語化が進み、移動に制約がある人も、自宅からまちなかまで、安全で快適に移動できるようになっている

介護付き旅行を企画・運営するNPO（神戸）

介護ヘルパー2級以上のエスコートヘルパーが同行する旅行業を始め、宿や施設と事前に打ち合わせをしながら、手作りの旅行を企画し、旅行をあきらめていた高齢者やケアの必要な人の旅行を実現している。



NPOが作成した高齢者が旅行に行くときに気をつけるポイントをまとめた旅のノウハウ本

小規模高齢化集落への移動型販売の社会実験（佐用）

一部の地域で実施していた移動困難地域における移動販売事業を拡大し、移動困難地域に暮らす高齢者などの生活利便性の向上を目指している。



「障害」の表記については、漢字の害が負のイメージを与えるためひらがなとすべき、あるいは「障碍」など別の漢字を用いるべき、現行の漢字のままとすべき、などの意見があるが、現時点で社会的合意は得られていないことから、このビジョンでは、現行の「障害」を用いることとする。

協働シナリオ1 つながりによる家族・地域の再生

家族の日など家族で過ごす機会づくり、地域ぐるみの子育ての取組をさらに進め、家族におけるつながりの再生や地域におけるさまざまな縁を通じたつながりの創生に取り組む。さらに、地域の支え合いによる安全安心コミュニティの創出とセーフティネットの構築、誰もが利用しやすいサービスなどの普及を進め、誰もが人と人のつながりによって自立し、安心した生活が営むことができる社会をつくる。

ビジョン 10年間の主な取組とこれからの展開方向

家族の絆を深め、地域で家庭を支える社会づくりをめざし進めてきたひょうご家庭応援県民運動などの取組を踏まえ、家族で過ごす機会のさらなる創出と、近居・隣居など多様な住まい方の支援を進め、家族のつながりをより確固としたものにしていく。また、ひょうご出会い支援事業の成果を踏まえ、男女の出会いへの社会全体での応援の取組を広げる。

地域ぐるみで子育てをめざし、まちの子育てひろば、わくわく親ひろばを進めてきた成果を生かし、引き続き様々な主体の連携による安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組む。

地域の大人たちが子どもたちに体験活動の場を提供する「まちの寺子屋」などの取組を踏まえ、地域全体でまるで一つの家族のようなつながりを持つことができる地域づくりをさらに進める。

地域主体での安全安心の確保に向けた地域包括ケア体制の構築や自主防災組織、まちづくり防犯グループなどの取組を生かし、住民自身がさまざまなコミュニティサービスの提供主体となるしくみづくりをさらに進め、誰もが安心して暮らせる地域を住民主体でつくる。

ユニバーサル社会づくりの取組をさらに進め、共に生きる心を培いながら、誰もが使いやすい「モノ」「情報」「サービス」の普及、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進し、誰もが自立して活動しやすい環境を整える。

家族のつながりの再生と縁結び応援など新たなつながりの育み

- ・家族がつながる住まい方の創造
 - まちづくり協議会、企業などが連携した近居・隣居の拡大
 - 空き家を活用した、地域のゲストハウスづくり
- ・家族で過ごす時間・機会の創出
 - 在宅勤務、短時間勤務などの推進
- ・社会全体での縁結び(出会い・結婚)への応援
 - 地域、行政が連携した男女の出会いの機会創出
 - 仕事と生活両立支援のネットワーク拡大



社会全体で男女の出会いを応援する
ひょうご縁結びプロジェクト

家庭、地域、学校、職場の連携による子育て応援

- ・地域ぐるみでの子育て応援
 - 男性も参加した子育て応援ネットワーク拡大
 - 空き地・空き部屋などを活用した子どもの遊び場づくり
 - 地域の大人による子ども見守り活動の実施
- ・仕事と子育てを両立できる働き方の支援
 - 仕事と子育てを両立しやすい柔軟な働き方の推進
 - 多様就業型ワークシェアリングの拡大
- ・安心して出産・子育てできる体制の整備
 - 周産期母子医療センター や乳幼児救急医療施設の拡充
など地域の医療体制の確立



子育て中の親子が気軽に集い情報
交換する「まちの子育て広場」



親子、三世代がともに学ぶ学習会
「わくわく親ひろば」

< 周産期母子医療センター >

周産期母子医療センターの「周産期」とは出産の前後の時期という意味。母親と新生児の両方の医療が必要になる時期で、周産期母子医療センターはそのふたつが組み合わされた施設。

ふれあい再生と多様な住まい方の創出による“地域まるごと家族づくり”

- ・家族のようなつながりを生み出す住まい方の創出
 - 多世代の入居を促すコレクティブハウジング化の推進
 - 集合住宅への多世代入居促進のしかけづくり
- ・空き空間の活用や施設の多目的利用による“たまり場空間”やコミュニティサービスの拠点づくり
 - 隣人まつりによる近所の人々との交流拡大
 - 自宅空間の開放による地域のカフェ、ギャラリーづくり
 - 空き施設を活用したコミュニティサービス提供の場づくり
 - 空き施設の所有と利用の分離と地域主体での管理のしくみづくり
- ・地域づくりの目的、志を共有するつながりづくり
 - SNSなどを活用した地域課題の情報共有と議論の促進
- ・コミュニティとコミュニティのつながりづくり



入居者が支え合うつながりを重視した住まい(高砂)



地域SNS ひよこむ

支え合いによる安全安心コミュニティづくりと孤立を防ぐセーフティネットの構築

- ・地域住民主体による日常生活の支え合い
 - 元気な高齢者による介護が必要な高齢者の日常生活支援の展開
 - 住民主体でのコミュニティサービス展開のしくみづくり
- ・高齢者の生活の安心を支える新たなしくみづくり
 - 市民後見人 の養成、利用しやすいリバースモーゲージ制度 の普及

< 市民後見人 >

認知症などで判断能力が不十分な高齢者や障害のある人の権利を守るため、一定の研修などを受けた一般市民が 財産管理や生活支援に当たるもの。

< リバースモーゲージ制度 >

持家などの不動産を担保に、生活資金などを融資し、死後不動産を売却して返済するローンのこと。自宅はあるが現金や収入が少ないという高齢者が、自宅を手放さずに住み慣れた家で暮らせるなどのメリットがある。

- ・災害に備えた住民同士での協力体制の構築
 - 本人の合意に基づく地域の要援護者情報登録制度の構築
- ・犯罪や交通事故など日常生活のリスクを防ぐネットワークづくり
 - いざという時に駆け込める場所づくり
- ・孤立を防ぐセーフティネットづくり
 - 各種相談機関が連携したいじめ対策や自殺防止の取組の推進



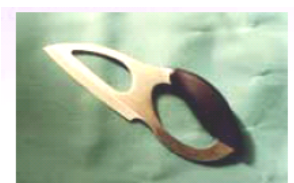
住民主体での地域の子ども見守り



住民が主体となって作成した防災ハンドブック(加古川)

「共生の心」を培う人権意識の高揚と、誰でも利用しやすいモノ、情報、サービスの普及や安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- ・共生の心を培う人権意識の高揚
 - 人権文化を進める県民運動の推進
- ・誰もが利用しやすいモノや情報、サービスの普及
 - 誰もが使いやすい機能の優れたものづくりの推進
- ・利用する人の立場に立ったモノや情報、サービスの提供
 - インターネットなど氾濫する情報からの被害を防ぐ啓発の場づくり
 - 外国人県民の安心を支える医療通訳育成と派遣のネットワークづくり
 - 移動店舗販売、御用聞きなど高齢化社会に対応したモノ、サービスの提供のしくみづくり
- ・多言語表示の標識、施設や公共交通のバリアフリー化など誰にとっても住みやすいユニバーサルなまちづくりの展開



少しの力で楽に切ることができる「楽々丸包丁」

だれもが使いやすい商品 グッドデザインひょうご

将来像2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

心と体の健康を礎に、兵庫の豊かな社会基盤や蓄積の中で、誰もが個性を生かしたライフスタイルを確立し、かつ社会で自分なりの役割を果たすことにより、生涯にわたって充実感や幸せを実感できる。

〔夢提案〕

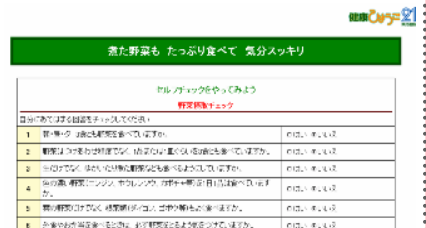
➢ 障害がある人もない人も同じように扱われ、社会に貢献できるようになってほしい。(淡路市高校生)

誰もが適切なアドバイスと多様なサービスのもと健康で暮らすことができる

- ・ネットワークと技術を生かした健康づくり支援のためのシステムが整っている
 - 個人にあった健康づくりのプログラムが普及し、多くの人々が目標を持って健康づくりに取り組んでいる
 - 健康づくりの幅広い活動が広がり、健康寿命が伸びている
- ・病気になったり介護が必要となき時に利用しやすいサービスが身近にある
 - 医療機関や福祉・介護施設が、個人情報の保護に配慮しつつ相互に連携して、質の高い医療・介護を地域内で効率的に提供し、地域の安心をしっかりと支えている。
 - 旅行先や転居先でも普段受けている医療がどこでも継続して受診できる、情報共有のしくみがあり、安心して旅行や転居ができる。

健康マイプラン 200万人運動

一人ひとりの健康状態や体力、生活状況に合わせた、実践しやすい生活指導プログラムである「健康増進プログラム」を生かした健康づくりが広がっている。インターネット上では、いつでも簡単に健康チェックができる「e-チェックプログラム」も開設されていて、肥満度判定や生活習慣のリスク判定などを行うことができる。



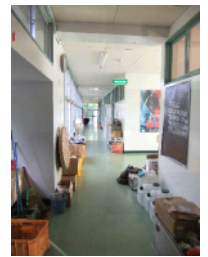
スポーツクラブ 21 (県内全小学校区)

地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブ。小学校などの身近な施設を利用して、スポーツ遊びや親子体操、ニュースポーツなど様々な種目を開設している。

感動や潤いをもたらす歴史、文化、芸術、学びが生活に根づいている

- ・芸術文化施設が身近にあり、住民参画の運営で地域の芸術文化活動を支えている
 - 空き空間などを活用した芸術文化活動を行う人が集まる地域の小さな拠点が増えている
 - 芸術文化施設を住民参加で運営する形態が広がり芸術文化活動のすそ野を支えている
- ・さまざまな世代の人が地域の祭りなど伝統芸能・文化、歴史資源をしっかりと守り、親しんでいる
 - 地域の伝統文化や歴史を多世代で守り、育み、次世代へつなげる取組が広がっている。
 - 地域の歴史や資源を地域の誇りにつなげ観光資源として生かすなど、地域ならではのツーリズムが生まれている
- ・スポーツ活動や生涯学習に気軽に参加できる場や仲間がある
 - さまざまな分野における生涯学習や人的ネットワークを生かして、地域づくり活動に取り組む人が増えている

廃校での芸術活動の展開 (淡路)
廃校を「アーティストによるコーポラティブハウス及び国際交流拠点」として活用し、地元のNPOを中心に国内外の芸術家が集まり、写真や映像の展示、演奏会などを行っており、新たな観光地となっている。



地域の伝統芸能の継承

地域の伝統芸能を継承させようと、地域団体や小・中・高校のクラブ活動や青年のグループの活動が県内で広がり、地域で伝統芸能が根づいている。



まちなかの廃校利用で学びの場づくり (神戸)

「コミスタこうべ」は小学校跡地を転用した生涯学習支援センター。貸会議室や生涯学習に関する情報相談コーナーを設置し、体験教室も実施している。



自然や農、食を楽しむ新しいライフスタイルが広がっている

- ・都市部からの住み替えや二地域居住が県民に広がっている
 - 都市部から多自然地域への住み替えや二地域居住によって、自然や農とのふれあいを楽しむ暮らしが実現している
 - 都市部から多自然地域に住み替えたり、通ったりする人々が、集落の住民と連携し、集落での地域活動の取組の主体として役割を担っている
- ・都市と自然が近い兵庫の特性を生かし多くの人が気軽に農業や自然を楽しんでいる
 - 多くの人が、健康の源となる食の安全の大切さ、命を育む素晴らしさを学んでいる
 - 農体験をきっかけとして、本格的な就農に取り組む人が増えている
 - その土地の伝統的な食文化や食材の大切さが再評価され、暮らしのなかに根づいている

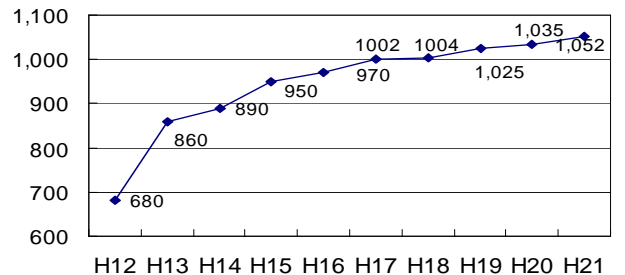
「いなか暮らし塾」での農村情報交換（朝来）

田舎暮らしを考えている人たちや田舎の生活を体験したい人々を対象に、田舎体験事業を実施したり、古民家などの情報提供を行い、最終的に“田舎で暮らす”支援を実施。農業体験、OB訪問などを通じて、都市住民の田舎暮らしを後押ししている。U・Iターン経験者が集い、情報交換も行っている。



農を楽しむ人の増加

楽農生活交流人口数の推移 単位：万人



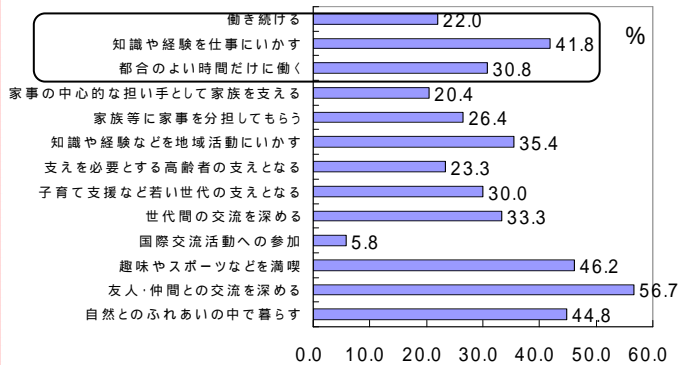
楽農生活交流人口数：県内の都市農村交流施設（農林漁業体験施設、農家レストラン、総合交流施設、農業公園）、農家民宿、市民農園の利用者数

年齢、性別、障害の有無、国籍、文化の違いなどにかかわらず、誰もがいつまでも主体的に地域や社会で活躍している

- ・個性と能力を生かしたしごとや多様な社会参加の場が生まれている
 - 義務的時間が減少し、地域活動や社会貢献活動などに主体的に使う時間が増えている
 - 誰もが地域の一員として地域づくり活動に携わっており、それぞれの個性と能力を生かして活躍している
- ・複線型社会が実現し、誰もが生涯自分なりの役割を果たし、充実感を得ることができる
 - 地域づくりや社会貢献のしごとでの経験が適切に評価され、民間企業や公共団体など異なる領域の相互の行き来が容易になっている
- ・生産年齢人口という概念がなくなり、誰もがいつまでも地域や社会で役割を果たしている
 - 継続雇用の定着、定年延長や定年廃止などが進んでいく中、元気な高齢者が、年齢に合わせた働き方で活躍している
 - 誰もが経験や知識、人的ネットワークを生かし、地域と企業を結び付ける役割を果たすなど、社会貢献活動に取り組んでいる

高齢期の望ましい生き方

（出典：H21 県民意識調査 複数回答）



民間企業経験を生かす若手の社会起業家（宝塚）

大学の同級生など3人で民間企業経験を生かし「得意分野を生かして地域でニッチ（すきま）の強みを出す」ことを目指し起業。NPO向けのパソコン講座の開催、出張でのパソコン相談などを行い、地域にこだわり活動している。

生涯学習の学びを生かしNPOを立ち上げた高齢者(川西)定年退職後に生きがい探しに高齢者大学・生涯学習講座に通い、2年間の学習のあと、自治会活動を経て仲間と地域文化の保存活動のためのNPOを立ち上げ地域活動に取り組んでいる。

協働シナリオ2 生涯健康で生き生き活躍できるしくみと場づくり

健康マイプラン運動やさまざまな地域づくり活動など県民の主体的な取組の展開と、医療体制など安全安心の基盤確保の取組、さらに充実した芸術文化施設、豊かな自然などの地域資源を生かし、誰もが心と体が健康であることを礎に、生涯にわたり充実感をもって生き生きと暮らせる社会づくりを進める。

年齢や性別、障害の有無、国籍、文化の違いなどにとらわれず、自分なりの希望や社会における役割が見つかる社会づくりにより、誰もがいつまでも生涯現役で活躍する姿が当たり前となり、「生産年齢人口」という言葉が使われなくなる社会を実現する。

ビジョン10年間の主な取組とこれからの展開方向

県民一人ひとりの健康長寿をめざした、ドクターヘリなど医療体制確保の取組や、健康マイプラン運動・スポーツクラブ21などによる県民の健康づくり活動の支援の取組をさらに進め、誰もが適切なサービスに住み慣れた地域で完結して受けることができる医療・福祉・介護サービスの充実に取り組む。

芸術文化が息づく暮らしの実現に向け、芸術文化センターや県立美術館など充実した拠点施設を生かしつつ、地域が育ててきた歴史や伝統の良さを再発見したり、空き空間を生かした芸術文化活動の場づくりを進める。

農を楽しむ楽農交流人口の増加や週末田舎通いの広がりなどを踏まえ、多自然地域と都市の双方での受け皿づくりや適切な情報提供などにより、自然、農、食の恵みを楽しめる新しいライフスタイルの選択がより容易になる取組を進める。

参画と協働の理念が定着し、県民交流広場事業などを活用し、多様な主体による地域の個性を生かした地域づくり活動が展開されていることを踏まえつつ、これまで地域と関わりが持ちにくかった人々に活動を広げ、誰もがいつまでも地域の一員として認められ、やりがいを持って社会参加できる環境づくりに取り組む。

心と体の健康づくり推進と多様なニーズに応える医療・福祉・介護サービスの充実

- ・医療、福祉が連携した在宅での安心基盤づくり
 - 通所・宿泊・訪問を組み合わせた居宅介護の推進
 - 診療所と専門医療機関をつなぐ遠隔診断システムの実施
 - 在宅で人とのふれあいを重視した終末期の環境づくり
- ・住民主体の生活支援サービスの構築
- ・一人ひとりに合った健康見守りシステム、健康管理システムの構築
 - 情報通信技術を活用した個別健康指導の展開
- ・個人情報保護に配慮した病診連携、病病連携、病介連携による医療・福祉・介護サービスの充実
- ・電子カルテの活用など、適切な医療がどこでも受けられるしくみづくり
- ・豊かな自然の中での療養、健康づくりの推進



介護をする人同士の交流の場を提供するNPO(西宮)



身近な健康づくりの場
スポーツクラブ21

歴史や芸術文化での感動発見と多彩な学びを楽しめる潤いある生活づくり

- ・日常にアートが溶け込むしかけづくり
 - 空き空間を生かしたミニシアターや工房、アトリエ、ギャラリーづくり
- ・固有の風土や文化を楽しむ暮らしづくり
 - 地域ごとに特色のある祭りや食文化など地域資源の活用と継承
- ・身近な生涯学習の場と学びの成果を還元するしくみづくり
 - 空き空間を生かした生涯学習の拠点づくり、学びを生かしたNPOの立ち上げ支援



佐保神社の秋祭り(加東)

農や自然を楽しむ新しいライフスタイルの促進

- ・多地域で生活を楽しむ新しい住まい方の創造
 - 都市部からの住み替えや二地域居住の受け皿として、多自然地域における菜園付住宅などの整備と利用希望者への斡旋のしくみづくり
 - 都市住民による田舎暮らしの留意点の習得
- ・幅広い世代でのまちとむらのつながりづくり
 - 都市住民と多自然地域の住民を結ぶ「多自然地域活動拠点」の整備
 - 学生などによる多自然地域の高齢者の見守りや農作業などを通じた地域とのつながりづくり
- ・楽農のさらなる推進のしかけづくり
 - 郊外の遊休農地などを活用した都市住民の就農体験の場づくりと住民主体による適切な管理
 - 郷土料理や地元産品を使用する地産地消の食を通じたスローフード教育の推進



滞在型体験農園施設(クラインガルテン)
(多可)



「楽農生活」を実践する拠点施設
兵庫楽農生活センター

誰もが主体的に地域や社会と関わりを持ち役割を実感できる社会づくり

- ・多様な層の地域や社会での活躍応援
 - 地域と関わりが持ちにくい壮年層などの地域づくり活動への参加応援
 - 地域活動団体の役員やリーダー層の人材の多様化へのしかけづくり(外国人県民や女性、若者、障害のある人などの地域活動団体のリーダーや役員への積極登用)
 - 障害のある人がその能力を生かして活躍する地域づくり(地域一体となった相談体制の強化や就労支援など)
 - 地域住民主体のコミュニティビジネス促進
- ・加齢に応じた、在宅勤務制度や短時間勤務体制などによる個人にあったゆとりある働き方の創造
 - 在宅勤務や短時間勤務などによる余暇を有効に使える働き方の創造
 - 高齢化する従業員に対する適切な健康管理の実施
 - 本人の希望に基づく65歳以上継続雇用の実現、定年の延長・廃止
- ・学び直し、働き直せる環境づくり
 - 地域課題を学ぶコミュニティカレッジの推進
 - 大学などにおける壮年層を含めた専門的・実践的地域づくり教育の実施
 - 企業とNPO間の職員の相互長期派遣協定の促進
- ・高齢者の定義を見直し、生産年齢人口という概念を無くすための啓発活動の展開



若者が、団体・企業・行政などの協力を得て、地域づくり活動を企画・実践する「ザ・わかもの座談会」



空き店舗を活用した授産施設
(ドーナツの店)(西宮)



定年がなく熟練技術者が活躍する企業(高砂)

将来像3 次代を支え挑戦する人を創る

家庭、学校、地域などさまざまな主体の連携による、産み育てやすい環境づくりと特色ある教育の展開を通じて、誰もが、学びの喜びを実感し、課題に挑戦する意欲を持って、地域や社会の持続と発展に貢献している。

〔夢提案〕

- 学校の課題研究で私の地域は医療体制が整っていないことが分かったので、将来は看護師になって地域の医療に貢献したい。(加古川市高校生)

さまざまな主体の連携により、産み、育てやすい環境が整い、子どもたちが生き生き育ち、遊び、学んでいる

- ・家庭・地域・学校・職場の連携により、仕事と子育ての両立支援、子どもの学び応援が展開されている
 - 小さくなる家族の中で悩みを抱える子育て世代を、地域全体が連携して支える子育て環境が整っている
 - 地域のさまざまな立場の人が、しごとや地域の歴史や文化、資源を地域の子どもに教えている
 - 学校の運営に地域住民が積極的に参画している

地域と学校が連携した生き方・働き方学習(加古川) 父親を中心とした子育てグループが地域の中学校・PTAと連携し、中学生を対象に月1回、地域への思いや働き方を学ぶ塾を開催。

働きたい時間を選び、キャリアアップを図る場を提供するNPO(神戸) 子育て中の女性が空いた時間を活用し、児童保育のスタッフとして働きながら、保育士資格取得の希望がある女性に対し、NPOが『キャリア形成支援』として現場での実習を含めた研修を行っている。



いのちやふるさとの大切さ、生きる力を学ぶ多様な教育が展開されている

- ・特色ある体験型・課題解決型教育や、多様な社会教育が展開され、いのちや人の営みの大切さを理解し、生きる力を備えた人が育っている
 - ふるさとの歴史や資源を理解し、地域への誇りや愛着を持った次代の担い手が育っている
 - 地域との関わりの中で豊かな心や地域を愛する心を培うとともに、課題解決に向けて挑戦する力を備えた人材が育っている
 - インターンシップやボランティア活動などが定着し、広い視野と課題解決に向けた実践力を持った人材が育っている
 - 誰もが主体的に自分が将来就きたい職業やめざす目標を見いだすことができる
 - 社会教育施設が中核となり、地域や学校と連携し、豊かな感受性を育む教育が展開されている
- ・地域社会の一員としての役割を主体的に果たす次代の地域づくりの担い手が育っている
 - 兵庫で育つ子どもたちが、社会で果たすべき義務や役割を考え、主体的に行動できる
 - 地域づくり活動を始めた人々が、活動を通じて地域課題の発見能力や課題解決能力、コーディネート能力を身につけ、地域づくり活動の中核として育っている

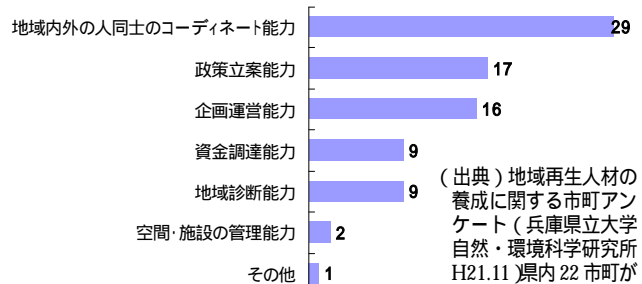
特色ある教育活動が展開 自然に対する畏敬の念をはじめ、いのちの大切さ、いのちのつながりを実感することなどを目的とした環境体験事業(小学3年生)など、体験型の学習を幅広く展開。



歴史・伝統ある学びの場 県内には歴史と伝統にあふれた学校が多数存在。特に私立学校では戦前に設立された学校が7割。外国人学校も13校あり、世界に開かれた地域として魅力ある学びの場を提供。



地域で不足している人材能力は何か



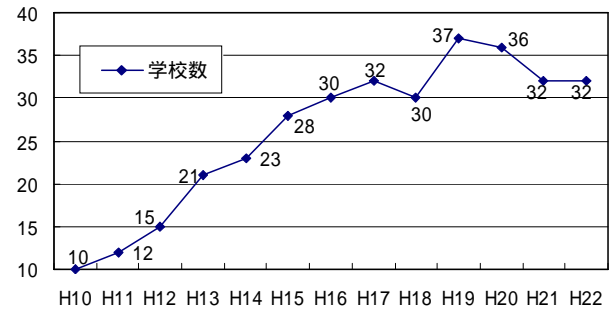
グローバルな共生力・協調性を身につけた人材が世界で活躍している

- ・多言語取得や多文化理解、海外を視野に入れたキャリア形成プログラムの展開により、世界で活躍できる人材が育っている
 - 多くの子どもたちが児童期から自然に外国人や外国文化と接し、外国語を習得し、多文化が共生することの意義を深く理解している
 - 自分の能力を最大限に発揮するために留学や海外でのキャリアを積極的に志向する若者が増えている
 - 大規模災害や地球温暖化など地球規模の課題に関心を持ち、その解決に貢献しようとする意欲を持つ若者が増えている
 - 兵庫発の才能あるクリエイターが世界で活躍している

進む外国語教育

国際的に活動を広げる人材を育成するため、多言語学習や早期からの留学など、海外交流に向けた取組を展開。

〔第2外国語教育(英語以外)を行う県立高校数
H10年:10校 H21年:32校(設置率:20.4%)〕



出典：美しい兵庫指標

海外への羽ばたきを目的とした県立高校の取組

友好提携先である中国広東省、海南省との高校生交流事業に取り組んでいる。広東省へは、県内10名の高校生の研修生を派遣。帰国後の高校独自の交流の下地づくりに取り組む。海南省とは、2011年(平成23年)に友好提携20周年にかかる生徒代表団(3名)による相互交流の覚書の調印を行う。

兵庫発の次代の人づくりのしくみとネットワークが世界に広がっている

- ・地球規模の課題解決に向けて学び、取り組む 人
同士のネットワークが国境を越えて広がっている
 - さまざまな国籍や文化的背景を持った若者同士の交流を通じて、地球規模の課題解決に向けた新しい知恵が生まれている
 - 国境を越えて社会貢献に挑戦する人が増え、その経験を子どもたちに伝え、持続的な社会貢献のしくみが生まれている
- ・大学などの研究機関、国際機関群やNPO、行政などの連携により、兵庫発の課題解決のノウハウがアジア、世界に広がっている
 - 阪神・淡路大震災の経験などを通して得た知見と国際機関の集積を生かし、兵庫が、世界の課題解決に貢献する地域となっている
 - 世界レベルの人材育成の拠点・兵庫で学んだ国内外の人材が、それぞれの国や地域で指導的人材として役割を果たしている

国際機関の集積と人材育成(神戸)

HAT神戸(神戸東部新都心)に防災、環境をはじめとした分野の国際機関・研究機関が集積し、ノウハウや情報、研究成果を発信、課題解決に向けたコーディネートを実施。JICA兵庫では県内の関係機関と連携しながら、開発途上国の人材を受入れ、研修を実施。

青年海外協力隊派遣が次世代の世界化へつながる

JICA((独)国際協力機構)が実施する青年海外協力隊派遣のうち、兵庫県では現職の教員の参加が多い。派遣者本人が国際的な視野を身につけるだけでなく、帰国後、子どもたちへその経験を伝えることで次世代の世界化にもつながっていく。

防災ワークショップ「イザ!カエルキャラバン」を グアテマラ、エルサルバドルで実施

「イザ・カエルキャラバン」とはNPO法人プラス・アーツが開発した子どもを対象とした、おもちゃの物々交換に防災訓練やワークショップを組み合わせた防災教育プログラム。NPO法人代表者などがグアテマラ・エルサルバドルを訪れ、現地に即したプログラムを考案した。両国は自然災害が多いことから、防災に対する意識が高く、現地マスメディアでも紹介された。

グアテマラの現地新聞に掲載
(写真は毛布担架を作っている様子)



協働シナリオ3 地域と世界で活躍する次代の人づくり

地域ぐるみの子どもの学び支援や魅力ある学校づくりの取組をさらに進めることにより、グローバル化が進む時代の中で、国内外の多様な人との交流を行い、また切磋琢磨する中で、兵庫から世界へ力強く羽ばたくことができる人材や、生まれ育った地域を守り支える人材など、兵庫の次代を担う個性豊かな「人」が生き生き育つ社会を実現する。

ビジョン 10年間の主な取組とこれからの展開方向

子どもたちの主体的に考える力を育むことを目的として進めてきたトライやるウィークやトライやるワークなど兵庫型の特色ある体験教育を引き続き推進し、子どもたちが将来の目標を自ら見つけ実現する課題解決能力を養う教育を展開していく。

道徳教育など心の教育の充実に向けた取組を進め、児童期から地域社会で生活することの知識・態度・スキルを一体的に学ぶ教育を進めていく。また、地域づくり活動の高度化・複雑化に対応し、大学やNPOと連携して、地域をマネジメントできる知識と経験を備えた人材を育成する。

地球規模の課題解決に貢献する兵庫をめざし、大学やHAT神戸の研究機関・国際機関の集積と幅広い国際交流の実績を生かし、異なる文化的背景や価値観を持ったさまざまな国の人々との積極的な交流・連携によって、地球規模の課題解決に貢献しうる次代の人材を育てていく。

さまざまな主体の連携による、産み、育てやすい環境づくり

- ・地域ぐるみでの子育て応援（再掲）
- ・安心して出産・子育てできる体制の整備（再掲）
- ・地域ぐるみで子どもの育ち、学び支援
 - 地域の人々の参画による学童保育の推進
 - 地域住民による学校運営（コミュニティスクール）の拡大



家庭や地域で絵本の読み聞かせを進めるための「ひょうご絵本の伝承師養成講座」

いのち・ふるさと・支え合いの大切さ、生き抜く力を学ぶ特色ある教育の展開

- ・いのちの営みや支え合いの大切さを学ぶしくみづくり
 - 阪神・淡路大震災の経験を基にした「いのちの大切さ」「支えあい大切さ」を学ぶ学習プログラムづくり
 - 体験型環境学習、農を学ぶ体験学習の推進
 - 郊外の遊休農地などを活用した学校農園の整備
 - インターンシップやボランティア活動などの経験が適切に評価されるしくみづくり
- ・ふるさとを学ぶ教育の展開
 - 地域と学校が連携し、地域の祭りや伝承、民話などを活用した地域を学ぶ教育の展開
- ・夢を持って生き抜く力を学ぶ教育の展開
 - 高校生による起業コンテスト、社会起業家との交流の実施
 - 多様なしごとを知る「地域しごと講座」の展開
 - 一流と出会える場づくり
- ・課題解決の力を養う学校教育の推進
- ・感性を育む社会教育プログラムの開発
 - 美術館、博物館など社会教育施設を中核とし、学校や地域NPOなどとの連携のもと感性を育む教育プログラムの開発



中学生を対象とした青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ」



小学校5年生を対象に実施される自然学校

次代の地域づくりを支える多様な人材の育成・活躍

- ・市民としての社会的責任、地域や社会との関わりを体得する兵庫式シティズンシップ教育の展開
 - 学校や地域における体験学習を含む体系的なプログラムの開発

< シティズンシップ教育 >

2002年から英国の中学校レベルで必修化。文化の多様性に対する理解の醸成、体験を通じて学ぶことの重視、身の回りの問題から大きな問題を考えるアプローチの重視が特徴。類似の取組はEU全体に広がっている。

- ・地域をマネジメントできるリーダー人材の育成
 - 学生が地域づくりプロジェクトに参加し、運営や資金調達などの知識・技術を習得できる「地域貢献プログラム」の展開
- ・地域の活性化を实践する幅広い人材づくり
 - 地元企業や商店街とNPOなどが連携した中高高校生による起業プログラムの展開
 - 高校生による地域課題に関するフィールドワーク実施の必須化
 - 地域での(社会的)起業を支える住民主体のファンド(基金)の設立
 - 地域活性化のためのさまざまな分野での専門人材の育成(地域交通マネージャー、総合福祉ディレクター、農の6次産業化コーディネーターなど)

グローバルな共生力・協調性を身につけた人材の育成・活躍

- ・グローバルな共生力を持つ人材の育成
 - 多言語習得や多文化理解のためのさまざまな実践プログラムの展開
 - 留学生や外国人学校との多彩な交流プログラムの展開
 - 海外留学生と日本人学生のルームシェア促進
 - 兵庫版青年・シニア海外派遣制度づくり
 - ギャップイヤー制度の導入など海外を視野に入れたキャリア形成を促すしくみづくり

< ギャップイヤー制度 >

大学への入学が決まっている学生が、半年から1年程度入学を延期し、その間にボランティアや職業体験、旅行などを通じて社会的な見解を広げ、目標意識を持つことを推奨する制度。

- ・世界で活躍する創造的な人材の発掘と発信
 - 兵庫の若いデザイナー、漫画家、アーティストなどの発表・活躍の場づくりと海外への発信のしくみづくり
- ・兵庫、日本を海外の人に正しく発信できる人づくり
- ・海を越える兵庫発の課題解決のネットワーク構築
 - 大学や国際機関の集積を生かした連携大学院の設立と社会変革の拠点化
 - 高齢化など先行する課題に対応するさまざまな社会実験の実施
 - 海外で活躍する兵庫ゆかりの人材のネットワークづくり
 - 兵庫で学んだ人材のネットワークづくり、ノウハウの還元のしくみづくり



シティズンシップ教育の一環として多様性理解の重要性を訴えるスコットランド政府ポスター



高校生が夢提案を行い、大人たちが実現方策を考えた「兵庫みらいフォーラム」(H23.2.13)



アジアを中心に増加する留学生が世界と兵庫をつなぐ



国際機関・研究機関が集積し、グローバルな課題解決に向けた研究・協力の拠点となっているHAT神戸